



長岡の図書館の原点 「互尊文庫」を寄付

互尊思想を唱えた社会実業家

のもと きょうはちろう
野本 恭八郎
嘉永5(1852)年~昭和11(1936)年

刈羽郡横沢村(現・小国地域)出身。20歳で長岡商人・野本家の養子に。如是蔵博物館を開館。

「互いを大切にすれば争いはなくなる」と説く独自の互尊思想を追求した人。互尊思想の修養の場、実業教育の場として互尊文庫建設・運営のための寄付を申し出ました。大正7年に開館した互尊文庫では、法律・経営・工学など産業界のためになる図書や、学生や社会人のための教養本を取りそろえ、多くの人材を輩出。談話室には市内の産業人が集まり、その偶然の話し合いから新しいアイデアが生まれていきました。互尊文庫は、自らの人生を明るく切り開く人間を育てる、いわば「人づくりの図書館」だったのです。昭和20年の長岡空襲で焼失しましたが、繊維商・内藤伝吉の寄付により再建されました。

現代版
国漢学校 互尊文庫



米百俵。プレイスから 始まる新たな未来

大手通坂之上町地区再開発事業

(仮称)

連載

その三 図書館



ギリア(株)
代表取締役社長 兼 CEO
清水 亮 さん

長岡市出身。プログラマーとして世界を旅しながら見聞を広め、平成29年にソニーCSL、WILLとともにギリア(株)を設立。「ヒトとAI(人工知能)の共生環境の構築」の実現に情熱をささげている。

かつて先人は未来を見据え、長岡のまちの礎を築きました。そして今も同じ志を持って活躍する人がいます。次代を担う若者たちにその想いを伝え、未来へとつなぐ「米百俵プレイス(仮称)」への期待の声と魅力を紹介します。
岡中心市街地整備室 ☎ 39・2807

図書館はあらゆる叡智に触れられる場所

小学生の頃から中央図書館に毎日のように通っていました。選書が独特で、中には変わった図書もあり、全く飽きませんでした。今でも長岡に帰ると図書館に行きます。長岡の図書館の素晴らしいところは、年齢にかかわらず貴重な図書を手に取ることができること。東京では閲覧利用者を年齢制限している所もあるのに意外と珍しいのです。長岡には知識を幅広く習得できる環境があります。僕もさまざまな図書に触

れ、学校では教えてもらえないような知識を習得できました。それが今のキャリアにもつながっていると感じます。米百俵プレイスは、誰もがあらゆる叡智に触れられる場所であってほしいです。図書があるだけでなく、整理された情報が集合していることに価値があります。未来を切り開く力を身に付けるにはこのような場が必要です。図書館であるからこそ得られる幸せや発見がきっとあるはず。

米プレイ
こんなトコ

暮らしや仕事をサポート
課題解決型のまちなか図書館



最新の資料収集や情報提供サービス、起業・創業、経営支援などが充実したビジネスライブラリー。リラクセスできる閲覧スペースでは、読書、勉強、仕事など自由な時間が過ごせて、より豊かな暮らし方や働き方をサポートします。



▲米百俵プレイス3階の「まちなか図書館」のイメージ

市政トピックス

製造現場の生産性向上へ ロボットの活用検討

ロボット技術の導入で製造現場の生産性向上を目指すグループ「長岡ロボットイノベーション」を、長岡産業活性化協会NAZEと市が共同で、9月17日に立ち上げました。

製造業者やロボットメーカーなど22社が参加。現場改善に有効なロボットの活用を検討し、各企業での導入を支援していきます。



下水道のPRで 国交大臣賞を受賞

市の若手職員が「マンホールカード」を使った合格祈願のお守りを作成し、下水道の広報・教育部門の国土交通大臣賞を9月10日に受賞しました。

お守りは、マンホールふたの特徴である「丸い」「落ちない」「すべらない」形状にあやかったもの。今年1月10日に配布し、用意した100枚が1時間で無くなるほど好評でした。



地域で、スポーツで快挙



道路の美化で国交大臣表彰

道路の美化や清掃活動に取り組む「道路愛護団体」に対する表彰が8月に行われ、市内の2つの団体が国土交通大臣表彰を受けました。

高島町町内会

平成16年から町内を通る県道の美化活動を続けてきました。農家組合と連携した草刈りやポイ捨て防止の看板設置、ごみ拾いなどの取り組みが評価されました。町内会長の小林保さんは「町内で協力し、今後も美化活動を続けていきたいです」と語りました。



関原中学校 生徒会

平成3年から取り組む国道8号の関原地下横断歩道の清掃や、沿道の花植えなどが評価されました。中心となった委員会の代表の齊京碧さんは「関原中の伝統として、地域の方が利用する地下道をこれからもきれいにしていきます」と語りました。



長岡出身の松田選手 パラ陸上でダブル日本新

9月に開催された日本パラ陸上選手権の100mと200mで、長岡出身の松田将太郎選手が、日本新記録で優勝する快挙を達成しました。



東京パラリンピックへの出場を目指す松田選手は「タイムはまだ縮める自信があります。市民のみなさんに今後も良い報告ができるよう頑張ります」と決意を語りました。

今月の 表紙



昨年度、「全国花のまちづくりコンクール」で大賞・文部科学大臣賞を受賞した桂小学校の伝統ある花壇です。花活動60周年を迎えた今年、8月29日に市民向けのオープンガーデンを初開催。全校児童35人が、地域の人や保護者と協力して育てました。児童がデザインを決めた「まが玉花壇」など、約30種類の植物が校庭を彩りました。(9月8日)